

2019年2月8日

各位

会社名: 富士石油株式会社
 代表者名: 取締役社長 柴生田 敦夫
 (コード番号: 5017 東証第一部)
 問合せ先: 総務部 IR・広報グループ 祖父江 高明
 TEL: (03) 5462-7803
 URL: <http://www.foc.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2018年11月8日に公表した2019年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2018年11月8日発表)	549,000	12,500	11,200	9,200	119.38
今回修正予想(B)	555,200	4,000	2,900	1,700	22.06
増減額(B-A)	6,200	△8,500	△8,300	△7,500	
増減率(%)	1.1	△68.0	△74.1	△81.5	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	423,772	11,188	8,633	7,945	103.11

2. 修正の理由

前回予想(2018年11月8日発表)以降の業績の動向等を勘案し、通期の業績予想を修正します。今回の修正見通しの前提として、第4四半期平均で、原油価格(ドバイ原油)は60ドル/バレル(前回予想同65ドル/バレル)、為替レートは110円/ドル(前回予想同110円/ドル)といたしました。

売上高は、前回予想比62億円増収の5,552億円となる見通しです。

損益につきましては、原油価格下落に伴う在庫影響及び製品市況の一時的悪化に加え、10月初めに発生した弊社袖ヶ浦製油所の停電事故の影響により大幅な減益となった第3四半期の実績を踏まえ、かつ第4四半期の製品マージンの見直し等を行った結果、営業利益40億円(前回予想比85億円減益)、経常利益29億円(同83億円減益)、親会社株主に帰属する当期純利益17億円(同75億円減益)となる見通しです。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上